

図書館だより

令和2年6月



15日(月)から図書館開館

15日からは分散登校も終わり、通常授業が始まります。手洗い、換気などコロナに対する対策を怠ることなく、健康で安全な学校生活を徐々に取り戻したいと考えています。

図書館も15日から元気アップの方々にご協力いただき、毎日、昼休みと放課後5時まで開館します。(1年生の利用はオリエンテーション後の6月29日からです)三密を避けるため、閲覧席は間をあけて着席する、会話はなるべく控えるなど、マナーを守って利用しましょう。

新刊も入りました。こんな時だからこそ新しい本を求めて、図書館に来ませんか。

図書支援員 森田菜穂美さん

今年度も図書支援員としてお世話になります。

連日の感染症に感染と向き合ううちにSDGsというテーマが浮かびました。SDGsとは、みんながずっと地球に住み続けられるようにするために考えられた17の目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを理念にしています。感染症対策は、この17の目標と切り離せません。そこで今回はSDGsの17の目標につながる本を紹介します。



「イクバル 命をかけて闘った少年の夢」 キアラー・ロツサリーニ

イクバルはパキスタンの小さな村の貧しい家庭で生まれました。4歳のとき、父親の借金(12ドル:日本円で1600円)と引き換えにじゅうたん工場で働かせることになったのです。劣悪な環境のもと毎日12時間以上も働き続けました。でも、イクバルは夢をあきらめません。その夢は、地球上の子供たちを動かし、そして大人をも動かすのです……。



「世界を平和にするためのささやかな提案」 池澤春菜ほか

さまざまな分野で活躍する人たちから10代の君たちに向けての22の提案(説教ではなくて)が書かれています。関心のある人の提案から読んでみるのもよし、目を閉じて開いたページから読んでもいいです。

「おもしろいことを考える」「自分の考えを素直に声に出す」「自分の意見を信じる前に、反対の意見を探す」など平和へ通じるとおもいますか?

